



令和5年度 酒田市立酒田看護専門学校第12回生 卒業証書授与式

在校生送辞—全文

頬を伝わる風が和らぎ、春の訪れを感じる季節となりました。

酒田市立酒田看護専門学校第12回生の皆様、本日は、ご卒業おめでとうございませう。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。この佳き日に新たな道へと進んでいく先輩方の門出を在校生全員でお祝いできること、とても嬉しく思います。

先輩方と過ごした2年間を振り返ると、私たちにとって皆さんの存在はとても大きく、背中を追うばかりの日々でした。入学当初、先輩方は慣れない環境や新型コロナウイルスの影響があることでいっぱいだった私達に優しく声をかけて下さいました。そのことがとても心強く、早く学校生活になじむことができたことを今でも覚えています。

宣誓式では、看護の道を進んでいくことの強い意志や希望を持つ姿に深く感動しました。その姿から私も改めて自身の看護について深く考え、自分の理想とする看護師像を明確にできたように思います。看護の日や酒看祭では、実習で忙しい中私たちの未熟な部分をサポートしていただき、学校行事を盛り上げて下さいました。地域の方々に笑顔で丁寧に関わる姿から私たちは多くのことを学びました。昨年のオープンキャンパスは、先輩方が初めて学生主体で行いました。初めての試みの中、企画・運営していくことに悩んだこともあったと思います。しかし、参加して下さいました高校生やご家族に自分たちの学校の良さを積極的に伝えていました。このような活動を通し自分たちで考え行動する12回生の企画力・創造力を感じることができました。

3年間の集大成であるケーススタディ発表会では、自分の看護を振り返り堂々と発表する姿から患者さんの思いや今まで歩んできた人生を知ろうとする大切さを学びました。また、先輩方も悩み葛藤しながら患者さんに向き合っていたのだと感じました。患者さんの発した言葉や小さな変化を見逃さないこと、その強みに着目することが誠実な看護につながることを忘れず、今後の学習に活かしていきます。

看護学生としての3年間は楽しいことばかりではなかったと思いますが、いつもどんなときでも目標に向かって前進される12回生の姿は、私たち在校生にとって憧れであり、道標でもあります。4月からは私たち13回生が最上級生となります。不安もありますが、下級生の良き道標となれるよう日々努力していきます。

最後になりましたが、皆様のご健康と今後ますますのご活躍を心よりご祈念して、在校生代表の送辞とさせていただきます。

本日は、ご卒業誠におめでとうございませう。

令和6年3月2日

酒田市立酒田看護専門学校

在校生代表 第13回生 小松雛美